

司式 スパーリンク宣教師  
奏楽 五十嵐美代枝姉妹

前 奏

開 会 招 詞 詩編 138 編 1-3 節

\* 賛 美 歌 2:1 主のみいつとみさかえとを (賛美歌7番1節)

主のみいつとみさかえとを こえのかぎりたたえて、  
またき愛とひくきこころ 御座 (みざ) にそなえひれふす。アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書2 (詩編51編)

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。5

罪の赦しの宣言 詩編 32 編より

十 戒 祈禱書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないでおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。

(出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 2:2 主のみいつとみさかえとを (賛美歌7番2節)

ゆだねまつるわが重荷 (おもに) を 主はかわりて負 (お) いたもう。  
なやみおおき世の旅路 (たびじ) も 主のいませばやすけし。アーメン

公 同 の 祈 禱 祈禱書5 使徒信条

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われは、そのひとりご、われらの主イエス・キリストを信ず。主は、聖霊によりて宿り、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。  
われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪の赦し、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。 アーメン。

献 金 (黒) 大会謝恩日献金 (赤) 大会謝恩日献金 70

**今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン**

聖書朗読 詩編 116 編 1-19 節 (旧約聖書956頁)

説教・祈祷 「祈りに応える方」 ローレンス・スパーリンク宣教師

\* 賛美歌 2:3 **主のみいつとみさかえとを (賛美歌7番4節)**

**闇 (やみ) をかえてひかりとなすなぐさめぬしとうとし。**

**のぞみは湧 (わ) き、おそれは消 (き) え、み民のさちつきせじ。アーメン**

\* 主の祈り 祈祷書1

天にまします我らの父よ  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ  
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 決意と派遣の歌 59:1 わが行く道いついかに (賛美歌494番)

わがゆくみちいついかに なるべきかはつゆ知らねど、主はみこころ

なしたまわん。そなえたもう主のみちをふみてゆかん ひとすじに。 **アーメン。**

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

雨宮信長老

ウ小教理問答#98：祈りとはなんですか？（答え）祈禱とは、神の御意志に一致することのために、キリストの御名によって、私たちの罪の告白と神のあわれみへの感謝に満ちたお礼を添えて、神に私たちの願いを捧げることです。

200913 詩編116編1-19節 祈りに応える方 スパーリンク宣教師

参照：ハイデルベルク信仰問答問 Q&A 116-118

ウェストminster小教理問答 (WSC) #98

詩編116編（聖書協会共同訳）

- 1 私は主を愛する。 / 主は嘆き祈る私の声を聞き
- 2 私に耳を傾けてくださる。 / 私は生きるかぎり呼び求めよう。
- 3 死の綱が絡みつき / 陰府の脅威が私に迫り / 私は苦しみと嘆きに突き当たった。
- 4 私は主の名を呼ぶ / 「どうか主よ、私の命を救ってください」と。
- 5 主は恵みに満ちた正しき方 / 我らの神は憐れみ深い。
- 6 主は未熟な者を守ってください / 私が弱り果てると、救ってください。
- 7 私の魂よ、休息の場に帰れ。 / 主はお前に報いてくださった。
- 8 あなたは私の命を死から / 目を涙から / 足をつまずきから助け出してくださいました。
- 9 主の前を私は歩む / 生ける者の地で。
- 10 私は信じる / 「とても苦しい」とあえぐときも。
- 11 「人は皆嘘つきだ」と口走るときも。
- 12 主に何をお返ししようか / 報いてくださったことすべてに答えて。
- 13 私は救いの杯を挙げ / 主の名を呼ぼう。
- 14 主への誓いを果たそう / 主の民すべての前で。
- 15 主に忠実な人たちの死は / 主の目に重い。
- 16 主よ、私はあなたの僕 / 私はあなたの僕 / あなたの仕え女の子 / あなたは枷を解いてくださった。
- 17 私はあなたに感謝のいけにえを献げ / 主の名を呼ぼう。
- 18 主への誓いを果たそう / 主の民すべての前で
- 19 主の家の庭で / エルサレムよ、あなたのただ中で。 / ハレルヤ。

本日のお話する説教は祈りについてですが、**中心的主張点**は次の通りです：主は祈りに答えてくださるから、思い切って大胆に祈りましょう、ということです。

**序： 宣教師に不可欠なのは支援者！** 使徒パウロの時代以後、世々の宣教師は同じです。そこでパウロ達が 送り出したアンティオキア教会に帰って報告をしたように、私たちも、定期的に北米に帰って、支援者に祈りの訴えをしながら、報告活動をしています。けれども今は障害があり、本部の意向によって一切の報告活動の旅が禁じられていますので、別の手段で日本宣教の状況を 文書やメール、インターネットを使っていますね。ついこの間、250以上のメールアドレス

ス宛に祈祷頼りのファイルを送り、100通ぐらいの手紙を出しました。このようにして日本の皆様のこと、伝道の成功のことを祈っていただいています。

ではまず、祈りについて学ぶにあたり、祈りの定義を確認しよう。WSC #98にスマートにまとまっていますので、確認しましょう。

**「問98：祈祷とは何ですか？ 答：祈祷とは、神の御意志に一致することのために、キリストの御名によって、私たちの罪の告白と神のあわれみへの感謝に満ちたお礼を添えて、神に私たちの願いを捧げることです。」**

主はこのように捧げる祈りを喜び、聞いてくださいます。

## 1 聖書において祈りへの応えの実例が多くあます！ 幾つかの例を挙げますと：

イ) 旧約において：投獄から解放されること（ヨセフ物語、創世記39:19-23、41:14-40）、不妊の女性に子供が授かること（例えば、ハンナのストーリー、サムエル記上1-20）、勝利が与えられること（モーセ、ヨシュア、ダビデ王の歴史など沢山あり、出エ17:8-13、歴代誌下20:1-30）、罪が赦される（自分の国に帰還できた捕囚のユダヤ人の話、ダニエル9:1-3、9:20-23）。もちろん、数え切れない例が他にあるのです。

ロ) 新約において：難病が癒される（悪霊追放とともに、てんかん病やライ病が癒される、マタイ伝8:1-4）、嵐が静まり（必死になって神様の助けを叫び求めた弟子たち、ヨナ物語もそうですが、マルコ伝4:35-41）、死者が蘇り（例えば、ラザロの生き返り、ヨハネ伝11章）、聖霊の力が注がれる（主の助けを皆で祈った初代教会に、使徒言行録4:23-31）。ここにも全体の中から今思いついた幾つかの例だけなのです。

ハ) いかがでしょうか。祈りに何かの効果があるだろうかと聞くと、絶対にあるとしか答えられません！大昔から今日に至るまで主の民が経験しています。

## 2 では、本日の聖書箇所、詩編116編の中身を確認しましょう。

イ) どなたが、いつ、どこで書いた歌でしょうか？ モーセ？ ダビデ？ エレミヤ？ 他の多くの詩編のような表題の言葉が今回ありませんが、エルサレムの礼拝者の中で救われたことの証を語り、感謝の捧げ物をするを歌っていますから、ダビデ時代以降のことでしょう。けれども、ダビデ王なのか、アサ王なのか、ヨシャパテ王なのか、ヒゼキヤ王なのか、特定できません。これらは皆、主に祈り求めて、不思議な救いが与えられたことを経験した人たちです。あるいは、主の民の一般人にも十分にありうる経験です。特定できないのは、誰にでもこれらの言葉でお祈りできるためではないでしょうか。

ロ) 結局、この詩編は主の民誰にでも歌える歌です。民の「古代の賛美歌」と言える詩編集のそれぞれの歌はいつの時代にも主の民の歌となっただけです。そして、これはよくある現象ですが、イエス様にも唱えることがありうる祈りです。イエス様は多くの詩編を暗唱して、これらによって祈っておられたことは福音書で証明されています。つまり、詩編116編も来るべきキリストの歌です。死から解放された蘇りのメシア、救い主の感謝の歌です。

ハ) この歌の内容から得る基本的な知識をまとめると、次のように言えます。祈りに応える主がおられます。この方に頼るべきです。いつの時代を生きた主の民の声が揃ってこのように教えてくれます。主の救いは主に頼り、主を信じて呼び求める人に必ず与えられます。つまり、信じて、頼んで、救われるわけです。これはちょうど私たちがいつも聖書の中で見出している救いの道です。この詩編で鮮やかに歌って示してくれています。

二) 私たちもこの歌を歌いましょう！ 実は、この詩編が礼拝式の中で捧げ物に伴ってよく歌う歌となっています。私自身は子供の頃からこの歌を暗唱しています。

What shall I render to the Lord for all his benefits to me?

How shall my soul by grace restored give worthy thanks, O Lord, to thee? (Ps 116:12)

この通り、私たちの捧げ物は神様にお金を奉納して何かをしていただくのではなく、一方的に私たちを救ってくださる主への感謝の応答です。ハイデルベルク信仰問答書の#116(同じ116!)の答えでは、祈りは主への感謝の最も大切な表し方であると言っている通りです。神様は私たちの祈る姿を本当にお喜びになりますから。ただの感謝する気持ちを抱いて言い表すのではなく、よくしてくださる、ほかならぬ 生ける主に感謝の恵みを語り、ありがたいことを歌うのです。

### 3 ということは、私たちの思い、期待を超えて、主がよくしてくださいました！(宣教師の感謝の証)

イ) ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私たちスパーリンク家の末の子、一人娘が大きな試練(病)に直面しています。それは去年の春に診断されました。肝臓にたくさんの腫瘍ができています。悪性ではないでしょうけれども、結構重い病気です。破裂すれば、流血して、命の危険があるほどです。大きければ大きいほど悪性にも変わります。外科医の勧めでしばらくの間様子を見てきましたが、いよいよ今年の6月に大きな手術を予定していました。そのため、6-8週間の回復の期間、看病と応援のために、そのつもりで、妻と二人で帰国することにしました。コロナ・ウィルス感染予防のために日本の国境が閉鎖状態だったために、日本に戻ることができかどうか分からないこともありましたが、その覚悟でミシガン州に出かけました。6月21日のことでした。

ロ) 1年ちょっと前にこの病を知らされたら、私たちのことと、日本伝道のために 毎日熱心に祈ってくださる「祈りのパートナー」8人にこのことを打ち明けて、癒しを祈ってくださるようお願いしました。信仰の友に祈りへの呼びかけをするのですが、このような個人的なことを知らせていいのかと迷いました。日本の同労者にも、また、幾つかの奉仕教会の役員にも、KFCの皆さんにも知らせて祈っていただけるようお願いしました。皆様からたくさんの親切なメールや優しい語りかけをいただき、慰められました。何人かの友から、「これらの腫瘍が消えていって、手術する必要がなくなるように祈っている」との手紙やメールもありました。そんな無理なことありうるのかと、感謝しながら、心の中で思っていた私です。

ハ) 祈りの熱心を呼びかけながら、本当に恥ずかしい話ですが、手術の必要がなくなるとは思えませんでした。いかにのぞましくても、そうすれば幸いな結果だと想像しても、神様がそこまで助けてくださるとは思っていませんでした。でも、不信仰を助けてくださる主の恩恵を体験する、大いなる癒しへと導いて、見事に祈りに答えてくださいました。米国に着いた翌日、外科医のMRI検査の分析と手術前の相談、つまりその日程を確認するために伺ってみると、なんと医者も驚き、当分手術の必要がなくなって、もう半年様子を見ることにする結論に至りました。たとえば、今手術を施してもらっても、腹腔鏡による、比較的軽いものです済みます、と。なぜなら、腫瘍の予想外の縮小がかなりあったためでした。なんと不思議に、私自身の不信仰にもかかわらず、主が願った通りに働きかけてくださったのです。皆様の祈りへの答えです！

116編1-2節をもう一度読みましょう。これこそ、そのまま、私の思いです！

私は主を愛する。 / 主は嘆き祈る私の声を聞き

私に耳を傾けてくださる。 / 私は生きるかぎり呼び求めよう。

**4 でも、考えてみましょう。もしそうではなければ、違う結果であったならば、どうしたらよいのでしょうか。その時、あきらめず、御心を探りながら、祈りに励み続けることではないでしょうか。**

イ) 信じて、熱心に祈っても、叶えてくださらない祈りがあります。事故死が起こり、病気によって召され、虐待が続き、パンデミックが現れ、感染がただ増えていくだけです。祈りを重ねて主の介入を、癒しを、改善を願っても、神様に動いていただく様子が見られません。全ての祈りに、望むままに主の答えがないかもしれません。このようなことを私たちも体験しているかもしれません。その時、シニカルになって、「神などいない」と、信仰を捨てるのでしょうか。

ロ) イエス様もおっしゃいましたが、この世にいる限り、悪との戦いも、罪の呪いの故に起こる災害も続きます。主の民が場合によって激しい迫害を受けることが起こります。戦争が相次いで起こり、犯罪が終わりを絶たず、猛烈な台風や大震災のような自然災害も人間が引き起こす悲惨なこともある。汚染で環境を破壊し、原子爆弾によって悪を極める行為もあります。悪が自らそれにふさわしい報いを必然的に招きます。

ハ) これはそうだと言っても、主の民は知っています：全てのことが主権者なる主のみ手にある、と。主がいよいよご自分の愛する民のために全てを益として働かせてくださいます。しばらくの苦しみがあっても、私たちのことを無視することはありません。ですから、諦めないで、なお天の門を叩き続けます。溢れる感謝を捧げる時が来る。山もいよいよ動き出し、海に移ってしまうのです。イエス様はこれについて一つのたとえ話を語っています。ルカ伝18:1-8 (143頁) にありますが、諦めないで、しつこく願い続ける寡婦のたとえ話です。

**結論： 祈りましょう！ 一緒に祈りましょう！ お互いのために祈りましょう！**

パートナーを組んで祈りましょう。牧師のために祈りましょう。福音宣教が成功して、大きな収穫が与えられるように祈りましょう。そのための働き手が与えられるように願いましょう。主の栄光が豊かに現れるように祈りましょう。主イエス様が再びおいでくださるように、マラナタを祈りましょう。私達が捧げる祈りにお応えくださるお方がいらっしゃるから、やめるわけにはいきません。アーメン。

**祈禱：** 恵み深い愛する天の父なる神様、主の恩恵を感謝いたします。あなたが祈りに応えてくださるお方であることを 昔の民にも今日の私たちにも示してくださいました。ごく最近、我が家に大きなことをなして、想像を超え 期待以上に 祈りに答えてくださいました。主の恵みにますます預かるために大いなる恵みを示してくださいました。私たちの捧げる祈りを聞いてくださる確信を与えてくださいました。主イエス様ご自身が教えてくださったように、また、昔の主の民が体験したように、気を落とさず、諦めないで祈り続けることができる者としてください。弱くて疲れてしまいがちな私たちを助けて、憩いの場へとお導きください。主イエス・キリストの御名によってお願いします。アーメン。

**その気のある方のために、暗唱聖句を勧めます：**

私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように、アーメン。(エフェソ3:20-21)